

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多治見市児童発達支援センター 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	2024/9/20		～ 令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和6年9月30日		～ 令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○訪問先施設評価実施期間	令和6年9月10日		～ 令和6年9月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	15園	(回答数) 12園
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年9月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	平成28年の早期開設により培った事業のノウハウがあること	時代のニーズに合わせた対応をその都度取れるように情報収集に心がけている	近隣の同事業所との連携を図りたい
2	同様に長い経験のある児童発達支援事業所との多機能事業なので、支援児の捉えが多様でや職員の層の厚さがある	児童発達支援の職員との意見交換や職員勉強会を通して支援の充実を図っており、合わせて専門職員との多様な見方を共有している	定期的に児童発達支援事業の職員が専属の保育所等訪問支援員になり、スキルアップを図る
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	報告書などの事務仕事の煩雑さ	訪問先の園のニーズにある対象児童のアセスメントに時間がかかり、かつ、報告までの過程が多い	報告書にあげる内容を精査するため開始からのニーズについて保護者や対象園と十分に話を重ねる
2			
3			

公表

## 保護者評価集計シート（公表）

事業所名		公表日 6 年 9 月 30 日		
多治見市児童発達支援センター		利用児童数 15名 回収数 15枚		
1	チェック項目	変化があった	どちらともいえない	変化がなかった
	園でのお子さんの姿について	14	1	
2	チェック項目	理解できた	どちらともいえない	理解できなかった
	園での支援内容について	15		
3	チェック項目	情報交換できた	どちらともいえない	情報交換できなかった
	園の先生との情報交換について	11	4	
4	チェック項目	分かりやすかった	どちらともいえない	分かり難かった
	報告書の内容や説明について	15		
5	チェック項目	変化があった	どちらともいえない	変化がなかった
	園での対応の変化について	11	4	
6	チェック項目	変化があった	どちらともいえない	変化がなかった
	家庭でのお子さんへの関わり方や対応について	12	3	
7	その他、要望やご意見をお聞かせください			
8	保育所等訪問支援事業を利用しての感想を自由にご記入ください			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段、のぞけない園での様子を知れてよかった。園での先生の対応や支援の仕方などを聞いて家でも真似したりできるので良かった</li> <li>・ 以前は園の方針・支援の仕方が分かり難かったが訪問支援を利用して今どんな支援を園で受けているのかが分かりやすくなった</li> <li>・ (子どもが) 園の活動に対して積極的に取り組めるようになってる。前向きになった</li> <li>・ 園の先生方が子どもの不安感に気づいてくれるようになり、気持ちに寄り添った声掛けをしてくれるようになった</li> <li>・ 園の支援を聞いて家庭でのかかわりも変えてくれた</li> <li>・ 写真つきだったので分かりやすかった</li> <li>・ 担任の先生への伝え方や接し方も教えて頂けて良かった</li> </ul>			

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

6年 9月 30日

多治見市児童発達支援センター

利用児童数

15名

回収数 12枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	10	2		・限られた時間内でのカンファレンスで不十分ではある。 ・お互い共通理解ができた。	・対面だけでなく電話など状況に応じて十分な情報共有になるよう努めます。今後ご相談ください
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	10	2		・使いやすい道具や器具など紹介してもらえるとよかった。 ・見ている所が違うので関心した。 ・子どもの困り感が見えなくスムーズに事が進んでしまうため、話し合うまでに至らなかった所もある。	・カンファレンスなどで情報共有し、必要に応じて、お子さんの姿と支援の場合った支援グッズを準備、紹介できるよう努めます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	11	1		・質問すればしっかりと適切に返してもらった。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7	5		・日々の保育の中の悩みも助言頂き、適切な支援をすることができた。 ・支援の仕方がよく分かった。 ・なかなか困りごとが解決するまでにいかなかった。	・カンファレンスや訪問時の姿などからお子さんの様子、困り感を状況交流し、日々の保育や困り感の軽減に繋がるような充実した内容になるよう努めます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	9	3		・療育でのねらいや活動についても情報を共有できると連携の意味があると感じた。 ・園で伝えにくい子どもの困り感や課題を伝えてくださり、ありがとうございます。	・療育の様子や支援については担当に確認し、訪問に伺わせて頂いております。十分な情報提供ができるよう努めます。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけカンファレンスの時間がとれるようにしたが、月二回は少し厳しい所がある。月一回でもいいのでは。</li> <li>・現場の職員的には支援員よりこの場面は～するや、～した方が良いではなくて、関わり方を実際の支援を見て学びたいとの意見もある。</li> <li>・療育が終了した子も継続して関わって頂き、園としても保護者にとっても成長や課題、支援方法の確認ができ、良かった。</li> <li>・支援の仕方を教えてもらい、日々の支援に取り入れることが出来た。訪問支援員の捉えを聞くことが出来、自分の考えと違った捉えで支援に活かすことができた。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスについて、いつもご協力頂きましてありがとうございます。回数や方法につきましては、お子さんや園の状況に合わせて柔軟に対応したいと思っているので、ご相談ください。</li> <li>・直接支援は、支援の方法やタイミングをカンファレンスなどでお子さんや集団の状況を確認しながら行うよう心掛けていきます。より、具体的に、充実した内容になるように努めて参ります。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターわかば		公表日		令和6年 9月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点など	課題や改善すべき点	
環境・整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		兼務がやりにくかったため、訪問専属員のみが良いと思う	今年度4名配置だったが、3名でも良いのではないか	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		アンケートをとって職員同士で共有し改善できる所から行っている		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		市への要望が反映されているかわからない	市が訪問のアンケートを実施してほしい	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	集団での子どもの見方など園向けの研修等にも積極的に参加できると良い		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		TASP等を参考にしたアセスメント表を使用している		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			1クールである半年で達成できる目標を設定している為、支援計画までは変更しないが訪問先の意向等は常に確認している		
関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	他事業所との連携のためサービス担当者会議が開催されると良い		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		スマイルブックで共有できるようにしている		

保護者との連携	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5		ST・OTの意見も参考に質の向上を図っている	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	4	1	・外部やわかばで会議、研修に参加している ・子ども部会の設立はこれから事業所連絡会議で訪問支援事業のことは周知し共有している	
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		11月から実施中	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		保護者会はあるが、仕事をしている方も増えており、保護者同士のつながりが減っている	
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5		OT・STによる専門職派遣の体制を整えている	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	1	コミュニケーションエラーがあったので聞き取りを丁寧に行いたい		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・そのような状況が今の所ない ・身体拘束の対象ケースはない		